

令和7年第3回(9月)大郷町議会定例会一般質問通告書

目 録

1. 田中 三恵子 議員
 - 1) 防災に強い町づくりについて
 - 2) 教育環境について
 - 3) おおさとSSP構想について

2. 金須 新一 議員
 - 1) 今後の町政運営について
 - 2) 公用車へのドライブレコーダー設置向上と事故防止対策について
 - 3) 災害時におけるペットの同行避難について

3. 鎌田 暁史 議員
 - 1) 新町長の公約について
 - 2) 水道事業について
 - 3) 町民の福祉向上について

4. 鈴木 安則 議員
 - 1) SSP構想について

5. 鈴木 利博 議員
 - 1) 小・中学校での暑さ対策
 - 2) フードドライブ&フードバンクを
 - 3) 大郷中の校庭整備を

6. 赤間 繁幸 議員
 - 1) 「まちづくりはひとづくり」について
 - 2) SSP構想について

7. 鈴木 恵子 議員
 - 1) 子供たちの未来に支援を
 - 2) 在宅介護家庭の支援について

8. 赤間 則幸 議員
 - 1) 既存の施設の有効活用について
 - 2) SSP事業について

9. 佐々木 和夫 議員

- 1) 新しい「おおさと」について
- 2) 再生可能エネルギー普及に伴う現状と今後の課題について

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 防災に強い町づくりについて</p> <p>災害時の避難所として指定された公立小中学校の体育館の冷房設置には地域格差がある。</p> <p>「近年の自然災害の激甚化、頻発化を踏まえると、体育館の空調設備の整備は早急に進めていく必要がある」とし、2035年までに100%設置を目指している。</p> <p>(1) 指定避難所に早急に冷房設置が望まれるが、設置計画、想定事業費や、補助金申請による試算など、検討状況について伺う。</p> <p>(2) 災害時の避難所の備えについて、備蓄品や寝具、食器や調理器具などの什器類の準備状況について伺う。</p> <p>(3) 防災施設のトイレの充足率 防災施設のトイレ充足率や多目的トイレの設置状況と、不足分についての対応策を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 教育環境について</p> <p>(1) 学力低下や不登校は問題だが、民間と学校やケアハウス、地域との連携を検討してはどうか、所見を伺う。</p> <p>(2) 地域おこし協力隊の受け入れを拡充し、教育環境の充実を図ってはどうか、所見を伺う。</p> <p>(3) 小学校の行事の際に、駐車場が少ないため離れた場所に停め、移動するのが大変だ、という声がある。安全面の課題や駐車場確保の敷地確保など、難しい問題であると思うが、駐車場の課題について所見を伺う。</p>	
<p>3. おおさとSSP構想について</p> <p>(1) 本構想は国や県、企業、地権者等の関係機関と計画し推進してきた。計画見直しや中止となった場合、各関係機関とどのような調整を図っていくのか、所見を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 今後の町政運営について</p> <p>今回の町長選挙で新町長が誕生したことにより、住民の方々は今後の町政運営について注目をしている状況にある。以下の点について伺う。</p> <p>(1) 本町の将来像をどのように考えて立候補したのか伺う。</p> <p>(2) 町長が選挙期間中頒布した、選挙ビラの文中に「SSP構想ばかりが優先され、本来進めるべき他の大切な事業が後回しになっているのが現状です」と記載されている。具体的にどのような事業が後回しになっているのか伺う。</p> <p>(3) 今後SSP構想をどのように考えていくのか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 公用車へのドライブレコーダー設置向上と事故防止対策について</p> <p>公用車へドライブレコーダーを設置することは、動く防犯カメラとして非常に有効であり、多くの自治体で導入されている実績がある。また運転する職員の安全運転意識を向上させ、事故が起きた場合の責任の明確化や事故処理の迅速化につながる効果もあると考える。以下の点について伺う。</p> <p>(1) 本町では、ドライブレコーダーをどのように活用しているか伺う。</p> <p>(2) 設置計画についてはどうなっているのか伺う。</p> <p>(3) 公用車を運行する際の免許証所持確認、有効期間確認、アルコールチェック、体調確認等をどのような方法で実施しているか伺う。</p>	

3. 災害時におけるペットの同行避難について

災害時には飼い主はペットと同行避難することが原則になっているが、知らない方も多く、また受け入れ体制も十分とは言えない。

2011年の東日本大震災では、多くのペットが飼い主と離れ離れになり、住民への危害や生態系への影響が懸念された。環境省は2013年に「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」を策定し、動物愛護のみならず飼い主を守る取り組みを行った。しかしながら、2016年の熊本地震では、被災者の知識不足や避難所へ行くことをためらった経験等を踏まえ、令和2年5月に国の「防災基本計画」が修正され、市町村の努力義務として、指定避難所における家庭動物のための避難スペースの確保、獣医師会や動物取扱業者との連携が追加された。本町でもペットの同行避難に積極的に取り組んで頂きたい。以下の点について伺う。

- (1) 取り組みの現状について伺う。
- (2) 啓発広報活動についてどのように考えているか伺う。
- (3) ペットの同行避難に特化した訓練を行う必要があるのでは。町の考えを伺う。

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 新町長の公約について</p> <p>(1) スマートスポーツパーク（SSP）構想については「見直し」を公約としている。見直し作業の概要について、大まかな方針や作業期間、見直し作業の予算規模等についてどのような内容か伺う。</p> <p>(2) SSP構想において、予定地の盛土用に、吉田川の河道掘削による残土を活用する方針としているが、河道掘削は今年度末で終了する予定である。見直し前の計画を想定した場合、盛土に必要としていた土量の確保は困難では。町の見解を伺う。</p> <p>(3) 若者の定住化を促進するために、町からの奨学金利用者が住所を町に置いて働く場合、奨学金の返済を免除する奨学資金返済免除制度の創設は新町長の公約の一つにもなっているが、町の考えを伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 水道事業について</p> <p>(1) 水道事業の決算書によると、令和3年度で減価償却費から元金償還額を差し引いた金額（資金の増減）が約1,700万円プラスとなっている。令和4・5年度も同様の傾向となっている。この傾向は今後も続くのか伺う。</p> <p>(2) 水道事業経営戦略によると、令和9年度に10%の料金改定を見込み、料金収入の見通しを立てている。毎年資産が増えている状況であり、そのもとでの料金改定は必要ないと考えるが、町の見解を伺う。</p>	
<p>3. 町民の福祉向上について</p> <p>(1) 高齢者補聴器購入費助成事業では、助成の対象者を「住民税非課税世帯で身障者手帳（聴覚障害）を持っていない65才以上の人」としている。他の自治体では、18才以上としているところもある。条件を緩和し、助成対象となる難聴者を拡大すべきでは。町の見解を伺う。</p> <p>(2) 帯状疱疹ワクチン定期接種の自己負担額は生ワクチンが1</p>	

<p>回につき 4,800 円、組み換えワクチンが 1 回につき 12,000 円となっている。県南の一部の自治体では、自己負担額を生ワクチンで 2,500 円、組み換えワクチンで 6,500 円としているところもある。自己負担額を引き下げる検討を進めるべきでは。町の考えを伺う。</p>	
--	--

通 告 要 旨	備 考
<p>1. SSP構想について</p> <p>現状では、少子高齢化が進み町の衰退化が心配される中SSP構想が一つの手段として有効と考える。</p> <p>SSP事業誘致は被災者にとっても大きな希望の光であり夢でもある。</p> <p>町にとっても交流人口の増加、定住人口の増加にもつながる。</p> <p>(1) SSP構想については、「関係者や町民と話し合って結論を出すべき」と報道等にあるが、いつ頃か所見を伺う。</p> <p>(2) 地権者との意見交換の場を持つ考えはあるのか、所見を伺う。</p> <p>(3) 白紙撤回となれば、粕川地区60haの土地利用をどうするのか、所見を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 小・中学校での暑さ対策</p> <p>熱中症対策として、いろんなアイテムがある。今後、ネッククーラーの利用がますます増えるものと思う。学校内で利用し、外気温でだんだん効き目が薄れていくのを復活するために、各教室に冷凍庫などを標準整備しては。所見を伺う</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. フードドライブ&フードバンクを</p> <p>物価高騰の影響により、食料に困窮している方もいる。フードロスと生活困窮を上手く結びつけるものが、フードドライブ&フードバンクと考える。</p> <p>(1) フードドライブを町内5～10か所位に設置し、フードロスをなるべく減らすことにより、それが生活困窮者への大きな助けになると思うが、実際に取り組む考えは、所見を伺う。</p> <p>(2) フードバンクの利用者を月単位で更新し、生活困窮者に寄り添った取り組みについて所見を伺う。</p>	
<p>3. 大郷中学校の校庭整備を</p> <p>現在、大郷中学校校庭の土がかなり少ない状況にある。中学校では我慢して利用してきているが、そろそろ限界に近い状況である。早急にグラウンドの造成工事をする考えは。所見を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 「まちづくりはひとづくり」について</p> <p>「ヒト・モノ・カネ」という経営資源を最大限活用し、町民の幸福と町の発展を図ることが自治体経営と考える。中でも要となるのがヒト、つまり職員である。職員ひとりひとりがやる気と熱意をもって成長すれば、組織もよくなり、良い政策が生まれ、町の発展につながっていくと私は考える。</p> <p>町長は職員へどのようなことを期待するのか。所見を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. SSP構想について</p> <p>今回の町長選挙では、SSP構想の賛否が争点になっていたようです。中身の決まっていないものの賛否を町長選で問うことへ違和感を覚えていた。SSP構想についてはゼロヒャクではなく、町民に喜んでもらえる、納得してもらえる形にしていくべきと考える。</p> <p>SSP構想について考えを伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 子供たちの未来に支援を</p> <p>子供たちが、町に魅力を感じ、将来的に一人でも多く、生活することを願う。</p> <p>(1) 高校生、大学生の住民バス利用無償化や通学補助金などを支援すべきではないか、所見を伺う。</p> <p>(2) 町内出身の先輩方の、話を聞く機会を設けては、所見を伺う。</p> <p>(3) 町内の学生に、町でインターンシップの手助けをしてはどうか、所見を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 在宅介護家庭の支援について</p> <p>選挙の公約で在宅介護手当支給制度の創設とあったが、所見を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 既存の施設の有効活用について</p> <p>既存の建物の有効活用も考えていかなければならないと思っている。</p> <p>(1) 物産館2階を有効活用していくための実態調査をしていくのか伺う。</p> <p>(2) 物産館駐車場整備をどのように考えているのか伺う。</p> <p>(3) 開発センターと図書館の利用実態と今後の取り組みについて伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. SSP事業について</p> <p>SSP事業をどのように見直していくのか、もし中止となった場合、地権者への対応策を、どのように考えていくのか。</p> <p>(1) 今後、SSP事業をどのように進めていくのか、伺う。</p> <p>(2) 粕川地区の60haの地権者との土地利用計画をどのようにしていくのか伺う。</p> <p>(3) 企業版ふるさと納税で2億の寄付金が町へ寄付された。SSP事業が中止となった場合、寄付金はどのようになるのか所見を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 新しい「おおさと」について</p> <p>(1) スーパーマーケットを誘致し、移動販売車を利用し買い物支援、高齢者見守り支援を行うとあるが、具体的な誘致方法について伺う。</p> <p>(2) 住民バス及びスクールバスの運行体系見直しやデマンド方式と休日運行の導入とあるが、どのように見直しを行うのか伺う。</p> <p>(3) 教育に力を入れるまちづくりで、町営学習塾を開設し安心して学べる場の提供と学力向上のサービスとあり、具体的な時期について伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 再生可能エネルギー普及に伴う現状と今後の課題について</p> <p>(1) 令和6年3月の一般質問で、太陽光発電事業の未着工事業として6件あるとの回答だったが、着工し完成したのか、また今年度、申請が来ているのか伺う。</p> <p>(2) 太陽光発電における懸念について、寿命を迎えた太陽光パネルの処理においては、2030年代後半には太陽光パネルの大量廃棄が廃棄物として出ると予想され、その際、高騰する処分費が賄えず放置する事業者も出てくる可能性があるが、今後の対応策について伺う。</p> <p>(3) 火災対応は消防団員等があたりと思われるが、感電等の安全管理が整えられているのか、また、発電設備敷地内外の雑草に対する除草管理が十分ではないところが見受けられ景観を害しているがその対応について伺う。</p>	